

若木一・二丁目町会

当町会は、昭和32年5月「西台原町会」として会員287世帯で発足をいたしました。その後、昭和38年に地番整理により現在の「若木一・二丁目町会」に町会名を改称いたしました。

当町会は住宅が密集しているため、防火・防災活動に力を入れています。平成5年11月には、町内にある慈誠会若木原病院と災害活動相互応援協定を結び、地域防災に対してより一層の意識が高まりました。

この2年間は、コロナ禍により、盆踊り等、町会活動の多くを休止せざるを得ない状況となりましたが、現在においても毎月2回、防犯パトロールを行っております。これまで以上に会員相互の団結力を強くし、町連中台支部そして中台地区の重要な一員として地域福祉、防災等に邁進し、安心安全なまちを目指して努力して参ります。

※令和4年2月28日に発行した「板橋区町会連合会 創立60周年記念誌」の紹介文を掲載しています



例大祭



盆踊り